

## 評価指標（案）（※現段階でのイメージです）

### 【評価の項目】

解消策については、技術面や財政面のほか、事務局で設定した10項目で**多面的に評価**することを提案します。

### ① 選定段階と評価項目

- ・一次選定、二次選定の評価項目は同一であることを想定しますが、選定が進むほどより詳細な検討を行います。
- ・また、検討会等の意見をもとに評価項目の追加または削除が発生することがあります。
- ・ゼロ次選定では、必ず守るべき項目として、法律およびごみ収集機能の2項目による評価を行います。
- ・一次選定、二次選定においては、各評価項目をもとに、総合評価を行います。

### 【評価項目（案）】

評価段階	評価項目	評価項目の内容
ゼロ次選定	法律（適法性）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の違法状況が解消される案であり、その方策を進めることによって新たに違法要件が発生しないか。</li> <li>・適法性が担保される解消策となっているか。</li> </ul>
	ごみ収集機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な分量のごみを収集し運搬する機能を確保できているか。</li> </ul>
一次選定 二次選定	住民等要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民等の要望に沿った提案となっているか。</li> <li>・都市計画に沿った環境形成が考慮されているか。</li> </ul>
	周辺地域環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞や騒音、交通事故等、生活道路に負担がかからないか。</li> <li>・地元住民が安心して生活できる空間となっているか。</li> </ul>
	事業費（調査設計費、用地費、工事費）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解消策を実現するための調査設計や工事等に係る事業費が過大ではないか。</li> </ul>
	ランニングコスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解消策を実施後、3市の可燃ごみ処理施設の供用が終了するまでの期間の維持管理にかかる費用が過大ではないか。</li> </ul>
	事業工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解決策が実現し違法性が解消されるまでの期間が長期化しないか。</li> </ul>
	構造的難易度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造として実現可能な案であるか。</li> <li>・実施にあたり技術的な不確定要素を多く含んでいるか</li> </ul>
	関係権利者の合意形成（調整コスト）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市以外の用地を使用するなど、関係権利者との調整が必要となり合意形成が困難でないか。</li> </ul>
30年後の除却（現況復旧するためにかかるコスト）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3市の可燃ごみ処理施設の供用が終了する30年後に無駄にならない違法性解消方法であるか。</li> <li>・現況復旧に高額な費用や長期的な期間が必要とならないか。</li> </ul>	

### ② 比較検討一覧表の作成

- ・上記の評価項目をもとに解消案を比較検討した**比較検討一覧表を作成**し、検討会に提示します。
- ・各案は、事務局が考えた案ですので、検討会であらゆる案、評価項目を補足いただきます。